

一般質問

一般質問は、質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

歴史景観まちかどスポットは誰のために？

新政たかやま

西田 稔



問 荏名神社前のまちかどスポットは昭和 60 年に建設。その後、荏名団地町が出来て朝晩のラッシュ時にまちかどスポット前で渋滞が発生するようになった。ここは通学路でもあり安心・安全のため整備が求められている。まちかどスポット整備について市の見解は。

答 まちかどスポットの中には周辺の住宅地開発などで交通事情等が変化し、道路整備などの見直しが必要なものもある。地域など関係者の皆様のご意見も踏まえながら、スポットの部分的な改修や樹木の部分伐採により見通しを確保するなどの対応を行っていく。



荏名神社前まちかどスポット

下水道の今後の課題について

新政たかやま

沼津 光夫



問 下水道未整備地域や現在、耐用年数を超えて使用されている合併浄化槽の更新等、下水道の今後の課題についての市の見解は。

答 下水道未整備地域の中で、下水道処理区域内は河川整備計画と同調するなど条件が整い次第順次整備をすすめ、下水道処理区域外へは合併浄化槽設置費用に対する助成事業を進める。また、耐用年数を超えた浄化槽に対しては、国において改築に対する補助制度が創設されているため、今後、県と事業採択条件等を相談し、改築への助成について検討を進める。

EaTown 飛騨高山の現状について

みんなで未来をつくる会

丸山 純平



問 本町 3 丁目の EaTown 飛騨高山が、全館リニューアルを目的とした臨時閉館の状態になっている。当初は、外国人対応おもてなし拠点施設として、補助金等を活用してつくられた施設だが、この現状を市はどう認識しているのか。

答 EaTown 飛騨高山は今年 3 月末をもって全てのテナントが撤退している状況である。現在は貸館利用をおこなっているが、運営主体の株式会社まちづくり飛騨高山や関係機関と協議しながら、施設全体を一棟貸しするなど有効活用できる事業者を募集している。



オーガニック給食について

みんなで未来をつくる会

益田 大輔



問 昨今の急激なアトピーや発達障害の増加は、農薬や食品添加物が一因と指摘されている。化学肥料に頼らない有機農業の推進が世界的にも進められ、日本においても農水省が「みどりの食料システム戦略」を打ち出している。人は食べたものでできており、身体や脳が完成するまでの胎児期から乳幼児期、学童期の食事は極めて重要である。子どもの未来を考え、早急なオーガニック給食の導入が必要ではないか。

答 国の方針は承知している。有機食材の価格や量、質を注視し、市内で確保可能となれば導入を考えたい。

